

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ストラータ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.475	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ストラータ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤

比較対照ボール：ブルーフ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

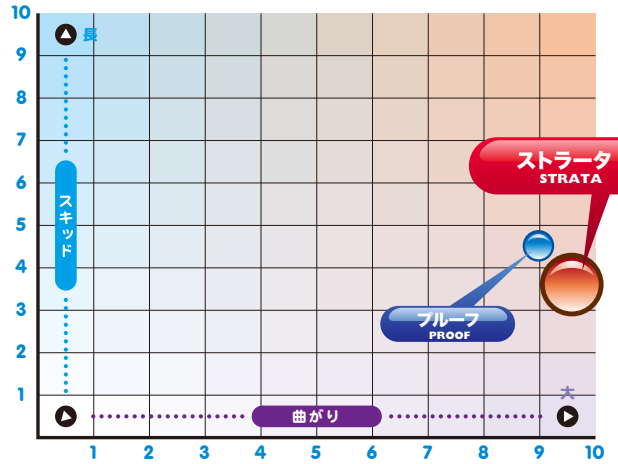
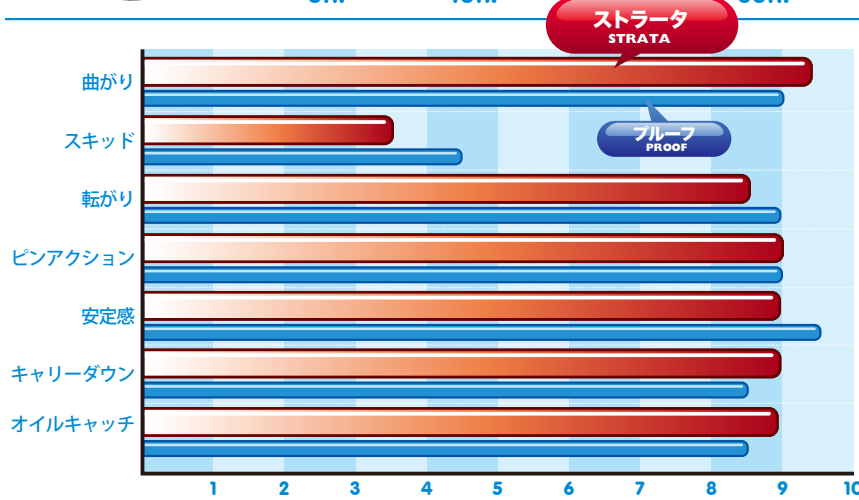
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

このSTRATAコアの基本数値はRG2.47、△RG0.050、Intdiff0.017ですが、慣性が低く△RGが高めのコアの特徴として慣性が低いと手前から転がりやすくなる物理的特性を活かして手前の転がりを作り、△RGが高めの特徴のフレアポテンシャルを大きくしてネジレ幅も大きくする。「転がりも出しながら奥も大きく動かそう」という意図がコア設定に込められています。

その設定のコアにTRACK社で最も強いカバーのソリッドモデルを搭載しています。手前から転がりを出そうというコアとキャッチの強いソリッドモデルがデータで読み取れる部分です。

テストングしてみるとやはりコアの設定とカバーとのマッチングを含め、手前から曲がるというイメージは見て取れました。様々なラインを投球してみるとオイルが多めのラインをタイトに投げることもできますし、オイルの多い部分から薄い部分へと幅を大きく取っても投球するラインも取れます。私の中での印象の強い部分はオイルの中をタイトに取った時、ラインはあまり出ていなかったのですが、薄めのみキシングのアクションで高確率でストライクを繋げられたことも十分ストライクに出来てしまうほど、ダイナミアコアですが柔らかなめのアクションが絶品です。

TRACK男子キャプテン市原竜太Pの感想は「比較対象としてプレジジョンソリッドと投げ比べてみましたが、先ず感じたのはキャッチ力が非常にアップしてると感じました。プレジジョンソリッドを発売当時投げた時はしっかりキャッチして尚且つバックエンドでキレを感じる曲でしたが今作STRATAはさらにキャッチが強くバックエンドではアーク状の曲がりですがロールアウトする感じもなく言うまでもなくピン飛びもよく絡むイメージでした!!」という報告を受けました。キャッチ系のボールでピンヒットまで曲がり続けるボールをお探しの方は、TRACK社のハイパフォーマンスボールをお試しください。

特記事項

ロングコンディションや手前のオイルをしっかり感じるコンディション、とにかく曲がるボールが欲しい方には非常にオススメなボールとなっておりますので動画を参考にぜひお近くのプロショップでお買い求めください。